



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第一九二号）

大雪

十二月七日

## 伊勢肌着 暖衣

いよいよ師走に入り、寒さもひとしおです。今年は野外での仕事が多く、防寒着が欲しいとあれこれ探していると、おかげ横丁の神路屋で見つけました。

その名も「伊勢肌着 暖衣」。暖衣と書いて「だんえ」と読みます。三重県の染色加工メーカー、スズラン繊維加工が手掛ける独自の起毛加工技術を生かした肌着といえます。見本品をさわってみると、肌触りの良い厚みのある生地。近頃はもっぱら薄手の機能性肌着を着用しているので、迷いましたが、購入しました。「暖かいですよ」と店員さんも開けっ放しの店内で、重宝しているとか。

さっそく着用してみました。起毛加工された生地は予想以上に柔らかく、肌触りは抜群です。チクチクしたりしません。身体を締め付けることもなく、ほどよいフィット感も気に入りました。胴体部分は脇縫いではなく、筒縫いにしてあるため、縫い目がなくごろ付きもありません。そして、なにより暖かいのです。これを着ると、薄着でいられるほど、驚きました。

これには、素材へのこだわりがありました。極細アクリル繊維プレリールは、ファイバー（繊維）を極細化することにより一般的なアクリル繊維より保湿も高く、やわらかな風合いに。また吸湿発熱アクリレート系繊維のエクスは、水蒸気の運動エネルギーを熱エネルギーに変換することで暖かい温度を維持するのです。

色は黒で、昨年行われた伊勢神宮の式年遷宮にちなみ「遷宮夜」。地域限定販売で三千円と価格は少し高めですが、この暖かき、快適さは値段相応だと感じました。和風のパッケージ入りのため、贈答に最適です。今年一年の感謝を込めて暖かいプレゼントはいかがでしょう。

文 千種清美

